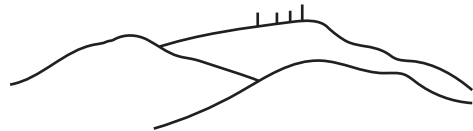


Youth Manna

2019/2/25 - 3/3



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/2/25(月)

詩篇 54 篇

ダビデはサウルから逃げている時に、自分の利益のためにダビデを売る見知らぬ人達に密告されて、命の危険を感じ(3) ストレスと悩みの中にいたよ。みんなも悪口を言われたり、悪意を持って意地悪されたことがあるかな? その時どうしたかな? ダビデは、ただ相手だけを見る事だけで終わらなかったんだ。神様を見上げて祈り、自分と相手の間に神様が入って報いて下さるように祈ったよ(4.5) その祈りの中で、神様が救い出して下さる事にダビデは確信を持てたんだ!(7)

私達も人間関係や様々な悩みに神様が介入して下さい、平安が与えられるように祈ろう!!

2019/2/26(火)

詩篇 55 篇

ダビデが、朝、昼、夕に嘆くと(17) 言っているのは、かつての親友であり信仰の友である人(13.14) が裏切り、そしてきたからだと書いてあるね。親しい人に裏切られたり、分かってもらえない時、みんなはどんな反応をするだろう?? きっと怒りや悲しみ、赦せない思い、人を信頼出来ない思いなどで葛藤するよね。ダビデもその葛藤と嘆き、うめきを神様にぶつけているよ。その中でダビデは神様の声を聞き、救いを受け取っていているよ。

自分では解決出来ない、どうしようもない心の中にある重荷を神様はゆだねなさい。と言って下さる!(22) 心の中にある重荷を神様にゆだよう! そしてイエス様と今日一日を歩もう!!

2019/2/27(水)

詩篇 56 篇

この詩篇は、ダビデがサウルの手を逃れて、一時、敵地であるペリシテ人の地、ガテにいたときの危機的な状況の中での彼の祈りと告白である。敵地に身を置き、いのちを狙われ、涙と恐怖の中でも、ダビデは神様に頼ることを辞めなかった。彼は、神を信頼し(3)、みことばを喜びとし(4.10)、神が味方であることを信じていた(9)。彼は大変な状況に置かれながらも、どれほど辛いのかを神様に正直に訴え、神様との関係にしがみついている。それが神の御前に生きることであり、後に希望を見出す「いのちの光」に繋がることではないだろうか(13)。

☞ みんなは困難な大変なときどうしているだろう? 「いのちの光」である、主に信頼し、主をほめたたえて歩むことができるように祈ろう!!

2019/2/28(木)

詩篇 57 篇

今日の箇所もサウル王の手から逃れる途中にダビデが作ったものだということがわかる。1 節に「まことに、滅びが過ぎ去るまで」と、ダビデは、この危機がいつまでも続くものとは思っていないことがわかる。必ず「過ぎ去る」ものであると理解している。希望が持てない時、いつまでこんな状況が続くのか、と出口の見えない苦しみに悩むものである。

しかし、そこで「過ぎ去る」という見通しを持てたら、後もうひと踏ん張りと思うこともできる。全ての状況を神が支配しておられることを改めて思い出そう!

神さまの御翼の陰に身を避け、信頼し、従うと宣言して今日も生きよう!

2019/3/1(金)

出エジプト 25:1-22

幕屋は神様の臨在を現すものでした。この箇所で神様は、幕屋を建設するために必要な物、必要な事を細かくイスラエルの民に命じています。それは人からではなく、神様から出たものに従うことを学ぶためでした。神様は幕屋に必要な物を民が捧げる時に、臨在を愛し喜んで捧げる、その心を求めていました。民はその通りに進んで喜んで捧げました。

皆んなの献金への態度はどうだろう? 嫌々したり、後回しにしたりしてないかな? 神様が見ているのは金額ではなく心です! 神様の臨在と教会を愛する心で、私達が捧げた時に神様は大喜びするだけでなく私達の中心にいてくれます! 私達が神様の臨在を愛し、教会を愛し時間もお金も、喜んで捧げられるように祈ろう!!

2019/3/2(土)

出エジプト 25:23-40

今日は机と燭台についての指示が書かれていたね。燭台は、ろうそくの灯りを固定して立てておく当時の電気スタンドみたいなもの。これがないと窓のない幕屋の中は暗くて何も見えなかったんだ。だけど、どんな暗闇でも火がつけばそこは明るく、闇に負けることはない。

私たちの人生にとって、イエス様も同じような存在だね。イエス様が私たちの誰にも言えない心の悩み、悲しみ、罪という暗闇に光をあててくださって、十字架という方法でイエス様が助けて下さったから、私たちは今イエス様から命を与えられているんだ。

今君の心のどの暗い部分に光が当てられてるだろう? 自分の内面を思い巡らし、祈って気付かされたら友だちと分かち合っていこう!

2019/3/3(日)

出エジプト 26:1-14

幕屋は荒野を進むイスラエルの民の真ん中に、神がおられることを現していました。美しい糸が使われて造られた幕屋の内側の美しさは、外から見るだけではわからず、幕屋の中に入らなければ見ることは出来ませんでした。今の時代を生きる私たちは、実際に幕屋を造ることはありません。今はイエス様を信じる私たち一人ひとりの内にイエス様が住んでおられるからです! 私達が毎日イエス様と交われば、私たちの内側はイエス様の愛によって、日々美しくなり、いのちが溢れるようになります。

幕屋に行かなくても、毎日イエス様に会うことができることを感謝し、今日も私たちの内に住まれ、生きて働かれるイエス様に期待しましょう!! 今日私達は神様を礼拝し、宣べ伝えて行きましょう!